

小 6 (新中 1)	受験 番号		氏 名	
---------------	----------	--	--------	--

# 入塾試験サンプル

## 小 6 (新中 1)

### 国 語

#### [ご注意]

1. この「入塾試験サンプル」は、実際の入塾試験よりも問題数を減らしたサンプル版となっています。
2. 実際の入塾試験では、問題によってはやや難易度が高い問題が出題される場合もあります。
3. 実際の入塾試験も、問題冊子と解答用紙は別々に分かれていますので、本番と同じように解答は解答用紙に記入して下さい。

この問題は誉田進学塾が作成したものであり、著作権は誉田進学塾グループに帰属します。ご利用は入塾を希望するご家庭の学習目的に限り、権利者の許諾を得ずに複製、販売、またはウェブサイトへの掲載等を行うことを禁止します。



1 次のそれぞれの文の——線部の、漢字は読み方をひらが

なで、カタカナは漢字で書いて答えなさい。

- (1) 通行のじやまになつてゐるものを除く。
- (2) 皇居は東京都にある。
- (3) ひがいが拡大する。
- (4) 明日は、時間厳守で学校に集合しなさい。
- (5) 好きな人のツマになる。
- (6) 森林は大切なシゲンだ。
- (7) 親コウコウをする。
- (8) このチイキには公園が多い。

2 次の(1)～(3)の——線部のことばと同じ意味や用法をもつ

ものを、それぞれあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) こたつの中でねこが丸くなつてゐる。  
ア とても寒かつたが、出かけた。  
イ あの犬にかまれた男性が、ぼくの兄です。  
ウ かれも君のように早く走れるのだが。  
エ やっぱり我が家は落ち着くなあ。
- (2) 雪の降る日を楽しみにしている。  
ア となり町に、兄の住んでいる家がある。  
イ 雨の中を、かけ足で家に帰つた。  
ウ そのケーキは、だれが買ってきたの。  
エ その赤いのが、私のマフラーです。
- (3) 毎朝七時に起きる。  
ア あまりの寒さにふるえた。  
イ 友だちと魚つりに行く。  
ウ すぐに追いつきます。  
エ 勉強の合い間にマンガを読む。

**3** 次のそれぞれの短歌を読み、あとの問いに答えなさい。

**A** 石崖いしがけに子ども七人腰こしかけて河豚ふぐを釣り居おり夕焼ゆづりけ小焼こやけ

北原きたはら白秋はくしゅう

**B** 今日けふまでに私わたしがついた嘘うそなんてどうでもいいよといううな海

俵たわら万智まち

**C** 入日いりひ入日いりひまつ赤あかな入日いりひ何か言いへ一言いちごん言いひて※落ちもゆけかし

今井いまい邦子くにこ

※落ちもゆけかし：落ちてゆけ。

問一 AとCの短歌から、次の表現上の工夫が用いられているものをすべて選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 短歌の最後がものの名前を表すことば(名詞)で終わっている。

② 短歌の決められた形式より音数が多くなっている。

問二 AとCの短歌から、次の鑑賞文にもっともふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

〈童謡どうやうのようなことばを用いて、情景かげえを影絵かげえのように表現している一首である。〉

4 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

患者<sup>かんじや</sup>さんは、

「こんなに体調がわるいのは、なにか重大な病気がひそんでいるからではないだろうか」

と不安に思いながら、病院へやってきました。

「病気のことをよく知っている医師ならば、きっとこの痛みをつらさもわかってくれるだろう」

と、患者さんは信じてやってくるのです。

けれども、そうした患者さん一人一人がかかえるつらさや不安については、医学生が学ぶ大学の教科書には細かく書いてありません。①教科書からは学びようがないのです。では、どこで、どうやって学べばよいのでしょうか。

仮に教科書にヒントになりそうな説明が書かれてあったとしても、同じ病気の患者さんがすべて同じ痛みを感じ、同じ不安を持つわけではありませんね。一人ひとりで病気の感じ方というものはちがいます。

A、きみが虫歯の痛みで泣くほどの思いをしたり、からだ中がかゆくて夜どおしねむれなかったりしても、そのつらさをほかの人がきみとそっくり同じに感じることはできないでし

よう？　ほかの人が感じている痛みや不安を、まったく同じように自分も感じて理解するということは、だれにもできないのです。

ただ、わたしはさいわいにして、病気のために八か月間もねたきりで苦しんだ体験があります。本当なら災難といたいところですが、自分が大病をすることにより病気をもった人のつらさを体験できた、ということは、まさに「さいわい」と呼べましょう。そのおかげで、わたしは患者さんの心を察することができます。

患者さんがどんな痛みでくるしんでいるのか、B、病気のためにどれほど気持ちがあふさいでしまっているのかを、わたしは自分の病気の体験を手がかりにして想像することができま

す。

「本当につらいだろうなあ」  
と、患者さんの身になって感じて、何とか手を貸したいと心から思うことができます。

( 中 略 )

もしも、わたしが結核<sup>けっかく</sup>をわずらうことなく、順調にエリートコースを進んで、念願の医学部教授にすんなりなっていたら、ひよっとすると、わたしは学歴と名声を( ② ) にかけて高慢<sup>こうまん</sup>

ちきな医師になっていたかもしれません。

「痛いくらいなんだ。がまんしなさい！」

と、患者さんをしかりつけたり、

「きみはたいへんに重い病気で、すぐに手術をしないとイケません。とにかく急ぎなさい」

などと、患者さんや家族の希望や不安はおかまひなしに、深刻な話をすけずけと、しかも、何の感情もいれかずに口にしてしまったりする医師になっていたとも考えられます。

仮にそこまで③ひどい医師にならなかつたにしても、患者さんの心を察することができる医師になるまでに、わたしはもつと長い時間を費やさなければならなかつたことでしょう。C、わたしはこれから医師になろうとする医学生たちには、

「きみたち、死なないていどに④」  
などと冗談じょうだんをいつているくらいなのです。

人生において最悪の体験だと思つていたものが、じつはわたしが人の心を察することのできる医師になるために必要なレッスンであつたのだと、今は心から感謝しています。

人生というのは、こんな思いがけないかたちで、その人にとつてのだいじなレッスンを用意しているのです。きつときみの毎日のなかにも、将来に生かせるレッスンがいくつもかくされ

ていて、それをきみは毎日せつせと体験中というわけでしょうね。

今日きみが失敗して、みんなに笑われてなみだをこぼした体験は、いつか友だちが失敗したときに、その気持ちをだれよりもわかつてあげられるためのレッスンなのかもしれませぬ。今日きみがほめられたときに味わつた、晴れやかな、ほこらしい気分は、きみがもつと大きなことに勇気をもつてチャレンジするための準備運動みたいなものかもしれませぬ。

どんな瞬間しゅんかんのなかにも、きみがなにかを学べるチャンスがかくされているということです。D、自分がいつ、なにを学んだのか、それに気づけるかどうかはきみしだい、ということをお忘れなくくださいよ。

ひのほらしげあき  
(日野原重明「二十歳のきみへ——九十五歳のわたしから」(富山房インターナショナル)より)

問一 A・B・C・D にあてはまる言葉として

最もよいものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア だから イ ただし

ウ そして エ たとえば

問二 ——— ①「教科書からは学びようがないのです」とありますが、それはなぜですか。「患者のことはできないから。」という形にあてはまるように、文章中から二十字以内(句読点も字数に数えます)でさがし、最初と最後の五字を書きぬいて答えなさい。

問三 ( ② ) には体の一部を表す言葉があてはまらず。あてはまる言葉を漢字一字で答えなさい。

問四 ——— ③「ひどい医師」とありますが、

(1) このような医師とは、筆者は具体的にどのような医師だと考えていますか。ふさわしくないものを次から選び、記号で答えなさい。

ア ずうずうしくて、遠慮えんりょすることを知らない医師。

イ 人の気持ちを考えられない、自分勝手な医師。

ウ 病気の進行具合について、正確に理解できない医師。

エ 高圧こうあつ的で人を見くだし、患者の心を見ようとしなない医師。

(2) 筆者の考えるよい医師とはどのような医師ですか。文章中から十五字でさがし、ぬき出して答えなさい。

問五 ④ にあてはまる言葉として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 勉強べんきょうしなさい

イ 病気をしなさい

ウ がまんしなさい

エ 人の心を考えなさい

問六 本文中の内容として合っているものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 自分が大病を患わづらったことで、患者の気持ちが手に取るように分かるようになった。

イ 人生において最悪な経験をすることが、医師になる人には必要だ。

ウ 順調にエリートコースを進み、医学部教授になると、高慢こうまんな医師になってしまう。

エ 人それぞれ感じているつらさはちがいが、それを同じように感じて理解することはできない。

問七

この文章全体を通して、筆者が最も伝えたいこととしてふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 痛みや不安といった人が感じていることを、同じように自分も感じて理解しようと努力すべきだ。

イ どんなことも何かを学ぶことができるチャンスであり、なにを学んだのか気づけるように心がけるべきだ。

ウ 日常生活の中には、将来に活かせるレッスンはたくさんあり、より多く体験すべきだ。

エ 自分が失敗して悔しく思った体験だけは、他の人の気持ちを理解するために必要だ。

(これで問題は終わりです)



解答

- 1 (1) のぞ (2) こうきよ (3) かくだい (4) げんしゅ

- (5) 妻 (6) 資源 (7) 孝行 (8) 地域

- 2 (1) イ (2) ア (3) エ

《解説》

(1) 例文とイは、「くがどうする・どんなだ・何だ」という述語に続いて、主語を表すはたらきがあります。アは、「とても寒かった。しかし、出かけた。」のように、反対の内容を表す二つのことながらを結びつけるはたらきがあり、「しかし」「でも」「だが」などの接続語と同じようなはたらきをしています。ウは、文の終わりについて、「かれが速く走れる」ということを遠回しに述べる気持ちを表しています。エは、「我が」という一語のことばの一部です。

(2) 例文とアは、主語を表す「が」と同じはたらきがあります。イは、上の語が下の語を説明するはたらきをしています。ウは、文の終わりについて、質問する気持ちを表しています。エは、「くのもの」と、名詞と同じようなはたらきをします。

(3) 例文とエは、場所や時間を表すはたらきがあります。ア

は、動作・作用の起こる原因やきっかけを表します。イは、目的を表すはたらきがあります。ウは「すぐに(副詞)」の一部です。

- 3 問一 ① A・B ② B・C

《解説》

① 短歌の最後がもの名前を表すことば(名詞)で終わる表現技法を、体言止めといいます。Aは「夕焼け小焼け」、Bは「海」と、名詞で終わっていることを確認しましょう。

② 短歌には、五・七・五・七・七、三十一音という決まった形式があります。この形より音数が少ないものを「字足らず」、多いものを「字余り」といいます。Bは五・七・五・八・七、Cは六・七・五・七・七と、それぞれ三十一音より多くなっているので、どちらも字余りになります。

問二 A

《解説》Aでは、河豚(ふぐ)を釣(つ)って遊んでいる子どもたちの様子がよまれています。「夕焼け小焼け」といった、童謡(どうよう)

出てくるようなことばを用いることで、子どもの世界を印象的にえがいています。石崖いしがけに座っている子どもたちの姿が、夕焼け小焼けの真つ赤な夕空にかび上がり、まるで影絵かげえのような情景となっている短歌です。

本番では、短歌について複数出題されます。

- ★短歌の区切り方
- ★短歌にえがかれている情景などの説明
- ★表現技法

これらについても問われますので、学校の教科書などで復習をおきましょう。



#### 4

問一 A E B ウ C ア D イ

《解説》接続語せつぞくごの問題です。接続語は語と語・文と文・段落と段落をつなぐはたらきのことばなので、必ず前後の語句や文章がヒントになります。Aから順番に解くより、まず全部の問題を確認し、わかりやすいものから答えましょう。

問二 痛みや不安いで理解する

《解説》直前の文に「患者さん一人一人がかかえるつらさや不安い(は)：教科書には細かく書いてありません」とあります。いっぽう、後ろの段落には「仮に教科書に書かれてあつたとしても：一人ひとりで病気の感じ方というものには「書いてあるかないか」ともありません。つまり、ポイントは「教科書に書いてあるかないか」ではなく、「患者さん一人一人の病気の感じ方をすべて理解することは難しい」という意味合いになることを確認したうえで、問いの指定にある「〜できない」という表現をヒントにさがしてみましよう。すると、さらに後ろの段落に「痛みや不安を、まったく同じように自分も感じて理解する」ということは、だれにもできない」とありますね。字数に注意し、指定の言葉とつながるようにぬき出して書きましよう。

### 問三 鼻

《解説》「鼻にかける」は、自慢するじまんという意味の慣用語かんようぐです。

### 問四 (1) ウ

《解説》選択問題せんたくもんだいは、選択肢せんたくしを見る前まへにある程度、答えを考かんがえてから選えらびましよう。先に選択肢せんたくしを讀よむと、選択肢せんたくしの内うち容ように惑まどわされて、正ただしい答こたえが選えらべないことがありましよう。傍線部ぼうせんぶの直前ちかまへに「そこままで」とありましようので、「そこ」が指さしている具体例ぐたいれいを、傍線部ぼうせんぶより前まへの部分ぶぶんから探たづましよう。「ひどい医師いし」の例れいに当あたてはままら「ない」ものが正解せいかいです。

### (2) 人の心を察することのできる医師

《解説》「患者かんじやさんの心こころを察さつすることができまよう医師いし」が答こたえですが、字數じすうを超こえてしままうたため書かくことことができません。同どうじ意味いみを、別べつの表現ひょうげんであらわしてしている言葉ことばを見つみけることことがポイントポイントです。あらかじめどんな内容ないようがどこどこに書かいてあるのかを意い識しして讀よむと良よいですが、ささがす際さいはままず近ちかくからが基本きほんです。少すくしずつ範はん圍いを広ひろげて見みていきましよう。

### 問五 イ

《解説》筆者しんじやは病氣びやうきをした体てい験けんのおおかげで、患者かんじやさんさんのつつら

さや痛いたみを想さく像ざうできまよう医師いしになれたと考かんがえていましよう。ですすから、これこれから医師いしになろうとする学生がくせいたちにも同どうじような経験けんけんをしてほほしいと思おもつて「病氣びやうきになつてつつらい経験けんけんをししたらどうだどうい？」と、冗談じやうだん半はん分ぶんで言いつていましよう。

### 問六 エ

《解説》当あたてはままりそうな答こたえがああつたととしても、ししつかりと全ぜんての選せん択たく肢しを讀よみ返かえしましよう。なんとななくよよさそそうな解かい答たでああつても、一いっ部ぶ分ぶんが本ほん文ぶんの内うち容ようとちがうことことがあありましよう。本ほん文ぶんから讀よみ取とれなない内うち容ようの選せん択たく肢しを選えらんではいいけまません。迷まよつた時ときは、必かならずずももう一いっ度ど本ほん文ぶんにもどもどつて、読よみ返かえすことことが大だい切せつです。

### 問七 イ

《解説》設問文せつもんぶんには解かい答たのヒひントントがあありましよう。筆しん者じやが最さいも強きやうく述のべたいことことは、「くと思おもう(考かんがえる)」「くすべきだ・大だい切せつだ」といいつた文ぶんや、文ぶん章ちやうの最さい後ごのほうでままとめられていいることが多おほいのでおおぼえておおきましよう。選せん択たく肢しの中ちゆうには、本ほん文ぶん中ちゆうに書かいてあるものもああり、迷まようかもしれまません。

しかし、今いま回の問もんいは「筆しん者じやが最さいも伝でんえたいことこと」です。文章ぶんしやう後ご半はんの「人ひと生せいといいうのは…」で始はじまる段だん落らく以い降かうに着ちやく目め

すると、「人生には思いがけない形でレッスンが用意されている、それは将来に生かせるものであり、毎日体験している。どんな瞬間にも何かを学べるチャンスがかくさされているが、ただし、そのことに気づくかどうかは、自分しただよ」と述べられており、これが最も伝えたい内容だということが分かります。

